

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.48

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 百聞は一見にしかずVo1.9 ～平成28年度期成会視察研修報告～

期成会では、平成28年11月2日に受益者21人と事務局、後志中部農業事業所が参加し、平成28年度にニセコ町内で工事を実施したほ場を対象に視察研修を行いました。今回の研修では、水田の形が悪かったり、水田の枚数が多くて作業に苦勞していたり、傾斜がきつかったり、条件の悪かったほ場が整備されて改善された状況を確認しました。その他にも、ほ場の取り付け道路や耕作道路、水路の形状などの付帯施設も現地説明を受けながら確認をしました。今回の研修で実際に自分のほ場をどの様な形に整備するのか、またどの程度の整備が可能なのかなど、工事をするために行う設計業務で具体的な整備のイメージができるような研修をすることができました。



現地での説明のようす



整備ほ場を高台から一望

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.49

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 平成29年度ニセコ町国営農地再編整備事業 促進期成会総会を開催！

平成29年度期成会総会を4月13日に町民センターで開催しました。総会にはご来賓として中村裕之衆議院議員秘書をはじめ、片山町長、猪狩町議会副議長、ようお願い農業協同組合地区担当理事ならびにニセコ支所長にお越し頂き、各地区の代表・副代表、小樽開発建設部など関係者33人が出席のもと、平成28年度の事業報告および事業決算のほか、平成29年度の事業計画や予算案、促進事業積立金に関する内容について審議を行い、承認されました。

事業を進めていく小樽開発建設部後志中部農業開発事業所からは、新しく担当になった職員の紹介や平成29年度の事業内容の説明がされました。

今年は工事が着手され3年目をむかえますが、来年度以降の工事に向け、期成会としてより一層強力に運動を推進していきます。



促進期成会総会の様子



片山町長の来賓挨拶

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会レター  
Vol.45  
国営事業を多くの町民に知って貰えるように!!!  
ニセコ高校への講義活動Vol.1

本年度、ニセコ高校から教育活動の推進のため、後志中部農業開発事業所と役場に講義の依頼がありました。ニセコ高校の生徒に国営事業の内容、今までの経過、事業による効果を説明したあとに工事が完成したほ場や工事中で機械が動いているほ場で整備の内容や施設の構造を見学して、国営事業について知って貰いました。

今後も数回の講義を予定しており、これからも国営事業の内容を多くの町民に知って貰うために広報活動も行っていきます。



国営事業、内容説明のようす



工事現場、見学のようす

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.46

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間(予定)

### 地区推進委員会を開催しました

地区推進委員会とは、事業を円滑に推進するために、町内各地区(8地区)において受益者と関係者で様々な課題や計画について協議する場として組織しています。今回は、10月11日から10月21日まで全8地区で開催され、計51人の受益者が出席しました。

委員会では小樽開発建設部から平成29年度に工事の施工を予定しているほ場の説明や今までに課題となっていた内容の説明がされ、その後、意見交換、質疑応答が行われました。

これからも来年度以降の計画的な事業実施に向けて、中央省庁への要請活動なども実施し、一層強力に運動を推進していきます。



宮田地区推進委員会のようす



近藤地区推進委員会のようす

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.47

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間(予定)

### 国営事業を多くの町民に知って貰えるように!!! ニセコ高校への講義活動Vol.2

本年度、ニセコ高校から教育活動の推進のため、後志中部農業開発事業所と役場で講義を行ってきました。前回の国営レターでは、国営事業の説明、現地研修を報告しました。今回は、ニセコ高校の裏にある傾斜の敷地を国営事業のように整備をした場合にどのくらいの費用がかかるのかを実習しました。傾斜のある敷地を測量して、基盤整備の設計を行ない工事費用の積算を行ないました。今回で講義は終了しましたが、これからも国営事業の内容を多くの町民に知って貰うための広報活動も行っていきます。



測量実習のようす



積算実習のようす

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.43

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 平成27年度に整備した工事の紹介！

念願の工事が着手されて1年がたち、平成28年度の工事も進めています。工事は複数の水田や畑を1つのブロックにして整備を行います。

平成27年度は12ブロックで61haの工事を行いました。工事では畑の傾斜をゆるやかにしたり、小さな水田を合わせて大きな水田にしています。不要な雨水が溜まらないように畑にパイプを入れて排水したり、作物が成長するための土の中の石を取り除いたり、表面の土が少ない場合には他の場所から土を持ってきたりします。工事期間中に、河川に濁水を流さないために沈殿させる池を設置して、環境にも配慮した取り組みもおこないながら整備を進めています。今後も工事の進捗とあわせて報告していきます。



整備前の水田のようす



整備後の水田のようす

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.44

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 換地委員会現地確認を実施

ニセコ町の国営事業を進めるうえで、工事と一緒に土地改良法に基づく「換地」という制度を活用します。このたび、換地委員会の現地確認を全換地工区（川北工区、東部工区、南西部工区）で開催しました。

現地では、永土里ネット北海道換地支援室の斉藤秋彦室長にも出席していただき、換地における現地調査のポイントや、ほ場毎の条件の違いによる評価について、認識を統一しました。

換地委員は、引き続き換地業務として現地の確認、土地の評価などの作業を行い、公正な換地計画を作成していきます。



現地確認のようす（東部工区）



現地確認のようす（南西部工区）

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.41

再編農地：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 埋蔵文化財保護のために試掘調査を実施！

国営農地再編整備事業が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断するため、整備地区内を対象に「試掘調査」が北海道教育委員会により実施されました。試掘調査の前年度に収穫後の農地を歩き、試掘調査をおこなうポイントを決定します。

試掘調査は、埋蔵文化財の存在を調べる調査となり、遺構や遺物の有無、時期、深さ、密度、土層の堆積状況を調べます。

実際には、重機と人力によって、約20メートル間隔で1～2m四方の広さで深さ50センチ程度の小規模な発掘をして、発掘した土の確認、発掘断面の確認を行い文化財の有無について詳しく調べます。

調査は、北海道教育委員会の担当者のほかに、ニセコ町教育委員会、小樽開発建設部およびニセコ町国営農地再編推進室の担当職員が同行し、収穫後の畑で調査を実施します。今後も埋蔵文化財の保護のため、毎年実施していきます。

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間



発掘作業の様子



断面確認の様子

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.42

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 平成28年度促進期成会総会を開催！

平成28年度の促進期成会総会を4月28日に町民センターで開催しました。総会には中村裕之衆議院議員秘書をはじめ、片山町長、高橋町議会議長などのご来賓のみなさんにお越し頂き、各地区の代表・副代表、小樽開発建設部などの関係者29人が出席のもと、平成27年度の活動報告のほか、平成28年度の活動計画や予算案、3年に1度改選される役員

の選出について審議を行い、承認されました。事業を進めていく小樽開発建設部後志中部農業開発事業所では、ニセコ地区の担当者が昨年よりもさらに増員され、今年度の工事で来年度に工事する設計業務も随時行っていきます。

今年は工事が着手されて2年目を迎えますが、来年度以降の工事に向け、促進期成会としてより一層強力に運動を推進していきます。

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・鶴間



高橋町議会議長のあいさつ



促進期成会総会のようす



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.39

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 国営事業の工事の内容

今回は国営事業の工事の傾斜改良の整備を説明します。

傾斜改良は、傾斜が急で農作業に苦勞している畑の傾斜を緩くして、農作業がしやすくなるように畑の形を整える整備です。

それでは、畑に傾斜があるとどのような問題があるでしょうか？

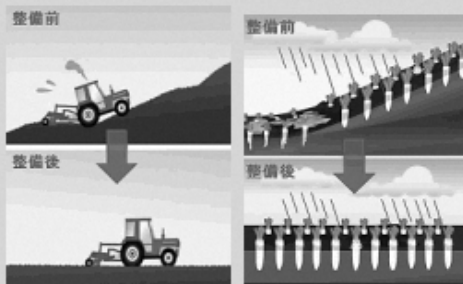
- ・畑に傾斜があると…トラクターの運転が大変
  - ・畑に傾斜があると…凸凹（でこぼこ）に水がたまる
  - ・畑に傾斜があると…表面の土や栄養分が流れる
  - ・畑に傾斜があると…作物の生育にばらつきがでる
- などの問題があります。

傾斜改良をすると、

- ・傾斜や凸凹（でこぼこ）がなくなりトラクターの運転がしやすい
- ・雪解けや雨が降っても表面の土が流れにくい
- ・作物の生育にばらつきがなくなる

などの効果があります。

傾斜改良などの整備をして、ニセコの未来へ優良な農地を引き継いでいきます。



整備前と整備後のイメージ

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・中村

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.40

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 百聞は一見にしかずVOL.8 ～平成27年度期成会視察研修報告～

期成会では、11月9日に受益者24人と事務局が参加し、ニセコ町内で平成27年度に工事をしたほ場を対象に視察研修を行いました。今回の研修では、傾斜改良によるほ場の勾配や水田の区画の形が整備された状況、ほ場の取付道路や耕作道路、水路の形状などを現地で確認しました。今回の研修で実際に自分の農地がどうなるのか、またどの程度の整備が可能なのかなど、今後の工事の設計で具体的にイメージができるように研修をすることができました。

視察研修のあと、期成会の臨時総会を町民センターで行い、各地区の代表・副代表、小樽開発建設部など関係者23人が出席のもと、工事の年の休耕補償の一部を助成する制度の説明が行われ承認されました。

今後も、工事を進めるための予算確保のために、期成会としてさらに運動を推進していきます。



現地での説明の様子



水田施設の説明の様子

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)

☎0136-44-2121 担当=辻・中村



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.36

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 国営事業の工事の流れ Vol.1

いよいよ今年度の工事が開始されますので、作業の内容を説明します。今回は現地での丁張り（木材で出来上がりのイメージを作ります）確認と表土（作物の成長に適した土）の厚さの確認のようすです。まず、丁張りの確認ですが、受益者と何度も調整しながら決定した設計を基に現地に丁張りを建てます。その丁張りを現地で農家と小樽開発建設部および工事会社で確認しながら整備後のイメージを共有します。その後、畑の表土の厚さを確認して表土を畑の横に堆積してから、表土の下にあった土を動かし整備を行います。今後も工事を進める中でどのように工事を行っていくのかを進捗状況とあわせて報告していきます。



出来上がりのイメージを確認



表土の厚さを確認

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・中村

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.37

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 工事の安全を祈って、 安全祈願祭が開催されました

国営事業の工事が安全に事故なく進むことを祈願して、7月3日(金)後志中部農業開発事業所安全連絡協議会と、来賓として中村衆議院議員秘書、町長、町議会議長、促進期成会会長、各地区代表、ようてい農協地区担当理事など関係者47人が参加のもと、宮田の水田（旧宮田小学校向かい）で安全祈願祭を開催しました。ニセコ町の悲願でもあった国営事業が着工され、今まで小さかった水田が大区画になり、傾斜のある畑が緩やかな耕作がしやすい畑に整備されることで、苦労してきた農作業が効率良くなり、未来に引き継がれる農地となります。国営事業で整備して良かったと思えるほ場の完成を受益者一同待ち望んでいます。今後も工事を進めるための予算の確保も期成会として強力に運動を推進します。



安全祈願祭のようす



促進期成会会長による玉串奉奠

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・中村

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.38

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）

### 川北工区換地委員会設立！！ 第1回換地委員会を開催

ニセコ町の国営事業を進めるうえで、工事と一緒に土地改良法に基づく「換地」という制度を活用します。このたび、川北工区の換地をすすめるため、8月24日に換地委員会を設立し、同日に第1回換地委員会を開催しました。（東部工区、南西部工区は1月26日に設立しています。）

換地委員会の設立にあたり、町長から地区の代表者となる換地委員に委嘱状が手渡されました。その後、水土里(みどり)ネット北海道換地センターの斉藤秋彦センター長から、「換地の知識について」の講習を受けました。換地はとても難しい制度ですが、換地委員は、換地業務として現地の確認、土地の評価などの作業を行い、公正な換地計画を作成していきます。



町長から委嘱状の交付



換地の講習

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・中村



## ～ニセコの未来を整備する～

### 地区推進委員会を開催しました

地区推進委員会とは、事業を円滑に推進するために、町内各地区（8地区）において受益者と関係者でさまざまな課題や計画について協議する場として組織しています。今回は2月9日から2月18日まで全8地区で開催され、計56人の受益者が出席しました。

委員会では、平成27年度からの工事に向けて、通年施工促進費（休耕による所得の一部補填）や受益者負担金に関する水田・畑作経営所得安定対策等支援事業（受益者負担金軽減対策）、換地委員会の設立などについて話し合いました。小樽開発建設部から平成27年度事業実施予定（案）、事業費負担構成（案）、ニセコ地区基本設計（概略）について説明の後、意見交換、質疑応答が行われました。

来年度以降の計画的な事業実施に向けて、中央省庁への要請活動なども実施し、一層強力で運動を推進していきます。

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
（国営農地再編推進室内）

☎0136-44-2121 担当=辻・中村

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.34

再編農地：149ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）  
総事業費：175億円



福井地区推進委員会のようす



西富地区推進委員会のようす

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.35

整備面積：1490ha  
事業期間：平成26年から  
10年間（予定）  
総事業費：175億円

### 今年度の工事成功を祈願して！ 期成会総会を開催！

平成27年度の期成会総会を4月30日に町民センターで開催しました。総会にはニセコ地区着工に大変ご尽力いただきました中村裕之衆議院議員をはじめ、片山町長、高橋町議会議長、吉原ようてい農協地区担当理事のご来賓の人たちにお越しいただき、また各地区の代表・副代表、小樽開発建設部などの関係者26人が出席のもと、平成26年度の活動報告、平成27年度の活動計画や予算案について審議を行い、承認されました。

事業を進めていく小樽開発建設部後志中部農業開発事業所では、ニセコ地区の担当者が増員され、今年度の工事や来年度に工事する設計業務も随時行っていきます。

いよいよ今年から工事が着手されますので、期成会としてより一層強力で運動を推進していきます。



中村衆議院議員の来賓あいさつ



促進期成会総会の様子

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
（国営農地再編推進室内）

☎0136-44-2121 担当=辻・中村

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.32

### 国営事業の工事はどのように進めていくの？

いよいよ平成27年度から本格的に農地整備の工事が始まります。工事を進めるためには、いろいろな調整を行わなければなりません。今回は、その内容を順にお話します。

#### 1 工事の前には何をする？ → 測量や設計が必要となります。

今の農地の状況を確認するために測量を行い、その後、受益者の意向を踏まえながらどのように工事をするか設計を行います。

#### 2 測量・設計の後は何をするの？

→ 工事を行う年を調整します。

測量・設計が終わったら、工事をする年次の調整を行い、工事の順番を決めます。受益者1人で工事を行う場合と、連続した農地の場合は複数名で同時に工事を行います。また、国からの予算が付かなければ、工事を進めることができません。今後も国に十分な予算が付くように、期成会を中心として要望していきます。

#### 3 工事はいつできるの？

→ 予算が付いたら工事の順番に沿って進めていきます。

工事は条件のいい時期に工事することを前提に進めていきます。雪解け後早々に、工事のための測量から始めます。その後、畑や水田の工事を行い、完成後に国の職員による完了検査を受けて工事が完了となります。



畑の現状



整備後のイメージ

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局（国営農地再編推進室内）

☎0136-44-2121 担当=辻・中村

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業  
促進期成会レター Vol.33

### 換地委員会設立！第1回換地委員会開催

ニセコ地区の事業は、工事と一緒に土地改良法に基づく「換地」という制度を活用します。換地とは、従前の土地から整備後の土地に権利などを移行する、とても難しい制度です。

換地を進めるため、1月26日に東部工区、南西部工区の換地委員会を設置し、同日に第1回換地委員会を開催しました。換地委員会の設置には、町長から地区の代表者となる換地委員に委嘱状が手渡され、その後、換地センターから講師を招き「換地の知識について」の講習を受けました。換地委員は、換地業務として現地の確認、土地の評価などを行い、公正な換地計画の取りまとめなどを行います。



委嘱状の交付のようす



講習会には各工区から換地委員が参加しました

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
（国営農地再編推進室内）

☎0136-44-2121 担当=辻・中村



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会レター  
Vol.29

百間は一見にしかずVOL.7

### ～平成26年度期成会視察研修報告その2～

期成会では、9月2日に後志管内の先進地視察を行いました。今回は受益者6人と事務局が参加し、真狩村で実施されている国営農地再編整備事業「真狩地区」の視察です。視察した「真狩地区」では、傾斜改良によるほ場の勾配や区画の形が整備された状況、ほ場の取付道路や耕作道路、付帯水路の形状などの説明を受けました。ニセコ町では、平成27年度から工事が着手されます。このため、今回の研修では実際に自分の農地がどうなるか、またどの程度の整備が可能なのかなど、具体的なイメージをしながら研修をすることができました。

事業が始まった今年度は測量や実施設計を行い、来年度は70ha程度、平成28年以降は、毎年約200haのペースで工事が進められることとなります。ニセコの未来のために、美しい農村景観を守り続けていきます。



視察の様子



馬の背だったほ場の整備後の状況  
(奥ののり面が以前のほ場の形)

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・中村

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会レター  
Vol.30

### 埋蔵文化財保護のための試掘調査を実施します

昨年まで北海道教育委員会が整備地区を対象に遺跡などの埋蔵文化財がないか、「所在調査」を行ってきました。今年からは来年度から始まる工事実施に向けて、整備地区内に文化財が埋蔵されているおそれがある、46地点の「試掘調査」をします。

試掘調査は、埋蔵文化財の存在を調べる調査となり、遺構や遺物の有無、時期、深さ、密度、土層の堆積状況を調べます。

実際には、重機と人力によって、約20m間隔で1～2mの長さで50cm程度の小規模な発掘を行い、発掘した土の確認、発掘断面の確認を行っていきます。



現地を歩いての遺物の確認

調査は、北海道教育委員会の担当者のほかに、ニセコ町教育委員会、小樽開発建設部およびニセコ町国営農地再編推進室の担当職員が同行し、収穫後の畑で調査を実施します。埋蔵文化財の保護を図りつつ、農地の整備を円滑に進めていきます。

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・中村

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会レター  
Vol.31

### 待ちに待った！ニセコ土地改良事業計画確定!!

ニセコ土地改良事業の法手続きは平成26年2月から始まり平成26年9月5日に事業計画が決定され、公告縦覧、異議申し立て期間を終え、平成26年10月25日に事業計画が確定しました。平成19年から地域整備方向検討調査を3年、平成22年から地区調査を4年、計7年間にわたる調査を終えて法手続きに入り、やっと、国営ニセコ土地改良事業計画が確定されています。事業計画は事業参加者、関係する数多くの機関のみなさんのご協力により作成されています。事業計画が確定したことで来年度から、念願でありました工事に着手することができます。今後は工事を遅延することなく進めるため、事業参加者との調整をスムーズに行いながら、未来に残るニセコの農地作りを進めていきます。



農林水産大臣からの決定通知書の写し

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・中村



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会レター  
Vol.26

施行申請書を提出！事業着工に一步前進!!

国営事業を着工するには、土地改良事業の手続きが必要となります。農林水産大臣に申請者が施行申請書の提出を行い、事業が採択されなければなりません。現在、ニセコ地区の手続きの状況は事業参加者の同意徴収が終わり、予定通りに北海道庁へ施行申請書を提出し、北海道庁と北海道開発局の審査を終え、農林水産省へ提出され審査を受けております。今後も遅延なく予定どおりに手続きが進み1日でも早く、事業採択されることを願っています。

北海道開発局の広報誌「かいはつグラフ」に事業紹介として、ニセコ地区が掲載されました。

先日、開発局の広報担当者が来町され、国営農地再編推進室中村係長にインタビューが行われ、ニセコにおける農業の取り組みやニセコ地区への期待について話しました。その後、ニセコ町の農業施設やビュープラザを案内して、ニセコ町の魅力を十分に説明しました。今後ともニセコ地区、ニセコ町のPR活動も推進していきます。



「かいはつグラフ」の掲載状況

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)  
☎0136-44-2121 担当：辻・中村

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会レター  
Vol.27

専門技術者と北海道が現地調査を実施!!

現在、国営事業を着工するため、土地改良事業の法手続きを進めています。手続きの中で6月25日には専門技術者と7月9日には北海道の現地調査及び検討会がそれぞれ行われ、ニセコ地区に対する事業化への確認がされています。専門技術者は各専門分野(農業土木・農業経済・環境・換地)に分かれた大学教授など4人、北海道は国営事業担当の職員により調査が行われました。

現地調査では、ニセコ地区を代表する整備ほ場を確認し、整備の施工内容や工法、整備後の環境配慮方法について説明をし、了解していただきました。

検討会では、専門技術者と事業施行の必要性や技術的可能性などさまざまな内容について意見交換が行われ、その結果を調査報告書として作成しました。一歩ずつ国営事業着工へ前進しています。



専門技術者による現地調査



さまざまな意見交換が行われた検討会の様子

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・中村

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会レター  
Vol.28

百間は一見にしかずVOL.6  
～平成26年度期成会視察研修報告～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会では、8月6日～7日にかけて先進地視察研修を行いました。参加した農業者は19人で、主に今金町(今金南地区)を研修しました。今金町は今年度から国営事業の工事が開始された地区で、この地区は水稻を中心とした地域ですが、近年「今金だんしゃく」として男爵いものPRも盛んに行われています。今金町の農業はこれまで、小区画の水田と泥炭(でいたん)地が多いため、排水不良で生産性が低く、また農地が分散し、非効率な農地利用となっています。そこで、担い手が将来にわたり耕作しやすくなるよう、国営事業に着手しました。これにより、水田を大区画化し、水はけを良くするための排水の設備を整備し、泥炭地でも水田を有効利用できるようにしています。研修では、参加者と事業主体の開発局担当者との活発な意見交換も行われ、来年度の工事に向けての勉強となりました。



今金南地区では工事の全盛期であり、多くの重機が動いていました。水田の標準区画は、1.1haを目指して整備が進んでいます

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編推進室内)  
☎0136-44-2121 担当=辻・中村



## ～ニセコの未来を整備する～

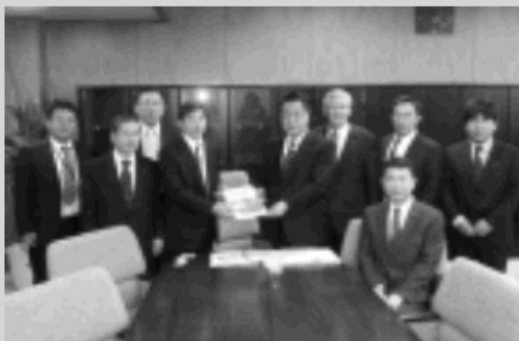
ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.23

### ニセコ地区決定へ！

11月27日、期成会会長をはじめ役員4人と町長、議長、事務局の計8人で上京し、国営緊急農地再編整備事業におけるニセコ地区の平成26年度予算計上に向けた、道内選出国議員および農林水産省、国土交通省への要請活動を実施しました。

地元の北海道4区選出の中村裕之衆議院議員に同行いただき、農林水産副大臣の吉川貴盛衆議院議員、今津寛衆議院議員と直接懇談して要請を行うことができたことは、大変大きな収穫となりました。

このたびの要請でも、地域ブランド化や6次産業化の取り組み拡大など農業と商工観光業が連携し、地域が活性化していくためには、基幹となる農業基盤を確かなものとするのが不可欠であり、そのために事業の早期着手が必要であることを訴えてきました。期成会での中央要請活動は今回で3回目となり、いよいよその成果が実ります。ニセコ地区決定へ！吉報はすぐそこまで来ています。



■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121

担当：中村・齋藤

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.24

### 閣議決定！

平成25年12月末、平成26年度国費予算の政府案が閣議決定され、ついにニセコが新規事業着手地区として決定されました。4年間にわたる地区調査、期成会による熱心な要請活動など、いよいよその成果が実ることとなりました。今後は施行申請の各種手続きを進めていき、予定では本年の秋ごろから測量・設計が行われることとなります。

期成会では12月10日から18日までの間、地区推進委員会を開催しました。



ニセコ地区推進委員会の様子

地区推進委員会は、事業を円滑に推進するため、受益者や関係者でさまざまな課題を協議する場として、町内8地区で組織しています。今回の委員会では、8地区60人の委員が参加し、工事施工順の考え方や受益者の負担金対策などについて話し合いました。ニセコの未来の整備に向けて、いよいよ本格始動です。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当：中村、齋藤

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会レター

Vol.25

### 来年（平成27年度）工事着工に向けて！ 期成会総会を開催

平成26年度の期成会総会を5月1日に町民センターで行いました。ニセコ地区着工に大変ご尽力いただいた中村衆議院議員にもお忙しい中お越しいただき、町議会議長、町長、農業委員会会長、ようてい農協地区担当理事などの来賓と、各地区の代表・副代表、小樽開発建設部など関係者35人が参加のもと、平成25年度の活動報告のほか、平成26年度の活動計画や予算案について審議を行い、承認されました。

平成27年度工事着工に向け、期成会としてより一層強力に運動を推進していくことを確認しました。

工事着手の体制として、小樽開発建設部では後志中部農業開発事業所にニセコ地区の担当者が配置され、秋には後志中部農業開発事業所が旧宮田小学校に移転予定となっております。

国営緊急農地再編整備事業により生産性の高い基盤整備を行い、将来のニセコ農業を確かなものとし、農業経営の安定化と農業の振興による地域の活性化を図るため、期成会として強力に運動を推進します。



促進期成会総会の様子

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当：辻・中村



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.20

百聞は一見にしかず  
～平成25年度期成会視察研修報告～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会では、7月16日～17日にかけて先進地視察研修を行いました。参加した農業者は21人、研修先は主に中富良野町（富良野盆地地区）で、現在国営事業を実施している地区になります。この地区は、ラベンダーで有名な地域ですが、農業はというと、小区画の水田と泥炭地のため排水不良により生産性が低く、また農地が分散しているために非効率的な農地の利用となっています。そこで、担い手が将来にわたり耕作しやすくなるよう、国営事業によって水田を大区画化し、水はけを良くするため排水の設備を整備しています。研修では、農地の現地視察のほかに、国営事業実施に向けた基本ルールや、施工区域順番などの先進事例を学びました。来年度事業実施に向けて、ニセコ町でもさまざまなルール作りが必要となります。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
（国営農地再編整備推進室内）

☎0136-44-2121 担当＝中村・斉藤



現地視察の様子。富良野盆地地区では、暗きょ排水管を利用して、地下からの給水を可能にした設備を整備し、泥炭地でも水田を有効利用できるようにしています



「中富良野町農業センター」で研修の様子。センターは国営事業の推進のため、中富良野町、富良野土地改良区、JAふらのにより組織されています

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.21

### 新規事業着手地区「ニセコ」

8月末に農林水産省から財務省に提出された平成26年度予算概算要求において、国営事業の新規事業着手地区としてニセコが盛り込まれました！

この概算要求は、財務省で審査の後、閣議決定され、国会に提出されます。念願の平成26年度事業着手に向けてスタートラインに立ち、いよいよ大きな一歩を踏み出すことになります。

今回の結果は、期成会の熱意だけではなく、議会や町、地元選出の中村裕之衆議院議員の協力による熱心な要請活動の成果です。

この事業は、平成19年度から3年間行われた「地域整備方向検討調査」から始まり、平成22年度から今年度までの「ニセコ地区調査」を合わせると、計7年間の長きにわたり調査を行ってきました。来年度から事業が始まると、平成35年度までの10年間にわたり、受益面積は1,490ヘクタール、総事業費は175億円という大プロジェクトです。より少ない負担で農地を整備することができる国営事業は、ニセコの将来にとってまたとないチャンスとなります。



■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
（国営農地再編整備推進室内）

☎0136-44-2121 担当＝中村・斉藤

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.22

百聞は一見にしかず  
～平成25年度期成会視察研修報告その2～

期成会では、9月3日に管内の先進地視察研修を行いました。受益者15名が参加し、国営事業を実施している真狩村の畑と、道営による基盤整備事業を実施している共和町の水田を視察してきました。特に今回視察した共和町の水田地帯は、山間部に位置しており、区画が小さく石れきが多いなど、ニセコ町の水田と共通点も多い地区です。平成26年度からの事業着手が近づいてきているなかで、今回の研修では実際に自分の農地がどうなるのか、またどの程度の整備が可能なのかなど、具体的なイメージをすることができました。

来年度から事業着手となった場合、最初の年は測量や実施設計を行い、2年目からは毎年約200haのペースで工事が進められることとなります。ニセコの未来のために、美しい農村景観を守り続けていきます。



現在、道営事業を実施している共和町「老古美（おいこみ）地区」

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
（国営農地再編整備推進室内）

☎0136-44-2121 担当＝中村・斉藤



## ～二セコの未来を整備する～

二セコ町国営農地再編整備事業レター Vol.18

### 来年(平成26年度)事業着手に向けて！ 期成会総会を開催

平成25年度の期成会総会を5月1日に町民センターで開催しました。町議会議長や町長、農業委員会会長、ようてい農協地区担当理事などの来賓と、各地区の代表・副代表、小樽開発建設部など関係者30人が出席のもと、平成26年度事業着手に向け、期成会としてより一層強力で運動を推進していくことを確認しました。

いまだ収束されない原発事故や、TPPなどによる日本農業への影響など、農業を取り巻く情勢は厳しい状況にあります。日本の食糧を守っていくためにも、二セコ町においてはこれまでも増して一層安心・安全な農産物を作り続けなければなりません。

しかしながら、二セコ町の農地は傾斜地が多く狭小で、水はけが悪いことや石れきが混入していることなどにより生産性が低い状況です。このままでは、農業の担い手の高齢化が進む中、離農跡地が継承されず、耕作放棄地が増加してしまいます。農業の衰退は、二セコの魅力である農村景観を失うことにつながり、観光業にも影響し、地域崩壊を招く恐れがあります。

このような状況を打開するため、国営緊急農地再編整備事業により生産性の高い基盤整備を行い、農業経営の安定化と農業の振興による地域の活性化を図っていきます。

### ■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局 (国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当=中村・斉藤



## ～二セコの未来を整備する～

二セコ町国営農地再編整備事業レター Vol.19

### 平成26年度事業着手に向けて！中央要請活動を行いました

3月の要請活動に続き、6月26日、国の予算資料の作成時期ということもあり、期成会会長をはじめ役員、町長、議長、事務局の計8人で上京し、地元の北海道4区選出の中村裕之衆議院議員と一緒に、道内選出国會議員および農林水産省、国土交通省に対し要請活動を実施しました。農林水産大臣政務官である稲津久衆議院議員、今津寛衆議院議員とは直接懇談し、国営事業についての要請および意見交換を行うことができました。今回の要請では、新たに作成した提案書を持参し、二セコ地域の観光を守り、さらに発展させるためには美しい農村景観の維持が必要不可欠であり、農地を守るためにもこの事業の早期着手が必要であることを訴えました。平成26年度事業着手を確かなものとするため、期成会・町・議会が一体となって、強力で要請活動を実施していきます。

### ■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局 (国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当=中村・斉藤

稲津農林水産大臣政務官(写真中央)への要請活動の様子(農林水産省政務官室において)



今津寛衆議院議員(写真中央)への要請活動の様子(議員会館において)



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.15

### 地区推進委員会を開催しました

地区推進委員会とは、事業を円滑に推進するために、町内各地区（8地区）において受益者と関係者でさまざまな課題や計画について協議する組織です。今回は、2月20日から3月4日まで全8地区で委員会が開催され、計74名の農業者が出席されました。

委員会では平成22年度から3年間にわたり実施してきた地区調査に基づき、事業概要の説明後、平成26年度からの事業実施に向けて国営事業に対する合意形成を図るため、仮同意書の手続きを行っています。また、任期満了による役員への選出は、来年度も地区調査が続き事業着手に向けた活動が活発化することを踏まえて、全地区で再任されることとなりました。

今後は中央省庁への要請活動なども実施し、早期事業実施の実現に向けてより一層強力に運動を推進していくことが確認されました。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当＝中村・齊藤



ニセコ地区推進委員会の様子

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.17

### 平成26年度事業実施へ！中央要請活動を行いました

3月21日に、期成会会長をはじめ役員3名と議長、町長と事務局の計7名で上京し、国営緊急農地再編整備事業ニセコ地区の平成26年度実施に向け、道内選出国會議員及び農林水産省、国土交通省に対し、要請活動を実施しました。主に議員会館と国会内において、地元の北海道4区選出である中村裕之衆議院議員同行のもと、農林水産大臣政務官である稲津久衆議院議員、そして長谷川岳参議院議員、吉川貴盛衆議院議員、今津寛衆議院議員へ要請活動を実施し、その後、農林水産省及び国土交通省を回りました。要請にあたっては、3月18日に町民センターにおいて開催された臨時総会で承認されました「提案書」を持参し、ニセコ町の農地の現状と、



中村裕之議員（左から3番目）と農林水産大臣政務官である稲津久議員（左から4番目）、長谷川岳議員（一番左）へ要請活動の様子



3月18日に町民センターで開催された臨時総会の様子。国営事業推進に向けてニセコ全体での合意形成がなされました

ニセコの活性化と未来のために早期事業着手の必要性を訴えてきました。

国会会期中ではありましたが、中村議員には全て同行していただき、この要請活動の効果がより大きくなったものと思われます。

今後も期成会では、平成26年度事業着手を確かなものとするため、中央要請活動を実施していきます。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当＝中村・齊藤



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.14

### 畑の土壌調査を実施しました

現在計画中の国営農地再編整備事業に向けて、水田や畑の土質などを確認する調査を行ないました。土を掘り、土壌断面の確認（土質、表土の厚さなど）を行うとともに、土質の試験及び含まれる石の大きさや量の調査なども行ないました。その結果、ニセコ町は主に粘性土や石を多く含む土壌が分布しており、表土が薄い畑もあるため、決して農業にとって良い条件ではないことが改めて証明されています。

また、客土（土が足りない畑に土を入れること）を行うための客土材調査も実施しています。候補地となっている町営牧場の土が、客土材として適しているかどうかを確認するため、実際に土を採取し土質などの調査を行いました。今回の調査では、町営牧場の土は畑の土として適しているという結果が出ました。

このように、国営農地再編整備事業実施に向けて、今後もさまざまな調査を行なっていきます。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局（国営農地再編整備推進室内）

☎0136-44-2121

担当：中村・齊藤



町営牧場での客土材調査の様子

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.15

### 地下水位調査を実施しました

広報ニセコ12月号から埋蔵文化財調査や土壌調査など、現在計画中の国営農地再編整備事業で実施してきた現地調査についてお知らせしてきました。今月号は地下水位調査についてご紹介します。

地下水位調査とは、暗きょ設置の必要性を検証するために、土壌の地下水までの深さの変動を調査するものです。調査の方法は、畑や水田に加工した塩化ビニール製の管を設置し、その中に水位計を設置して地下水位を測定します。今回は、雨が降って3日後と7日後の地下水位を観測して地下水位の変動を調査しました。

その結果、町内の大部分の田畑において、降雨後7日たっても地下水位が高い状態であることがわかり、改めて暗きょ工事の必要性が確認されました。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局（国営農地再編整備推進室内）

☎0136-44-2121 担当＝中村・齊藤



地下水位調査の様子



水はけが悪くぬかるんでいる畑



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.12

### ニセコ町の農地の現状と未来 其二（畑）

ニセコ町の農地の現状と未来と題しまして、8月号ではニセコ町の水田の現状を紹介しました。今月号では、国営農地再編整備事業によって整備された畑について、他地区と比較しながら紹介します。



ニセコ町で未整備の畑の多くは、①傾斜地が多く勾配も一定ではない、②隣接地の畑との段差が大きいため、作業効率が悪い、③石が多い、④水はけが悪いなど、さまざまな問題を抱えています。



真狩村で実施中の国営事業で整備された畑。隣接している複数の所有者が一体的に整備したことで、隣の畑との段差が無くなり、広がりのある畑となっています。また、平坦に見える畑も一定の勾配がつけられており、暗渠排水も整備され、水はけがよく条件の良い畑になりました。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当＝中村・斉藤

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.13

### 埋蔵文化財<sup>しきつ</sup>の試掘調査を実施しました

現在計画中の国営農地再編整備事業が埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断するため、現地調査を行いました。今回は、工事予定地を数日間かけて歩いて、地表に顔を出している文化財がないか調査しました。これを「所在調査」といいます。また、実際に小規模な発掘を行うのを「試掘調査」といい、元町地区の整備予定地で実施しました。約20メートル間隔で1～2m四方の大きさの穴を50か所掘り、文化財の有無について詳しく調べました。

国営農地再編整備事業を実施するにあたり、ほかにも環境調査や土質・れき量調査などさまざまな現地調査が行われています。内容については、またこのコーナーでご紹介していきます。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局

(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当＝中村・斉藤



元町地区での試掘調査の様子



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.10

### ニセコ町の農地の現状と未来 其の一（水田）

農業と観光のまちニセコ町。四季を通じて多くの観光客を魅了します。地元で採れた新鮮な農作物はニセコの観光にとっても重要な役割を果たしています。しかし、ニセコ農業の現状をみると、未来は明るいものとはいえません。高齢化や後継者の問題、ＴＰＰによる農産物の価格の問題、そして今一番問題なのは他町村に比べて収益性が低い農地の問題です。農地を整備し収益性を高め、未来へ優良農地を継承していかなければなりません。

今月号では、ニセコ町の農地の現状と未来と題しまして、ニセコ町の水田の現状と、国営農地再編整備事業によって整備された他地区の水田を紹介します。



（上）ニセコ町の水田の現状は主に、①区画が小さい（平均が約0.2ha）ため作業効率が悪い、②水路が整備されていないため、管理が大変である、③耕作道が狭く悪路であるため、農業用機械の移動や作業に時間がかかるなど、さまざまな問題を抱えています。

（下）空知管内の妹背牛地区で整備された水田。整備する水田のモデル面積は2.2haで、耕作道や用水路の整備に加え、地下かんがい設備も整備されています。そのため、転作により畑作物を栽培して、もし日照りが続いても地下から作物に水を与えることができます。このように、国営事業によって、農業生産技術が大幅に進歩しています。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局

（国営農地再編整備推進室内）

☎0136-44-2121 担当＝中村・斉藤

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.11

百聞は一見にしかず

～平成24年度期成会視察研修報告～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会では、7月11日から12日に先進地視察研修を行いました。

参加した農業者は19名で、研修先はすでに国営事業を実施している十勝管内鹿追町の「中鹿追地区」です。

この地区は酪農畑作地帯で、担い手が減少する中、規模拡大を目指す酪農家にとって障害となっていたデントコーンや牧草などの栽培の負担を軽減するため、JA鹿追町にその作業を委託する事業を実施しています。そこで、畑を斜めに分断している排水路を真っ直ぐに切り替えて区画を大きくしたり、畑にある大量の石れきの除去など農作業に支障をきたすような障害を取り除くために国営事業が実施されています。

ニセコ町でも、次世代に優良な農地を引き継ぎ、少ない担い手でも効率的に耕作できるような農地を整備するためにも国営農地再編整備事業に取り組んでいきます。



中鹿追地区で整備された排水路と農道。この地区の畑は石が多いことで悩まされていました。事業によって取り除いた石は、整備した排水路の護岸に再利用しています。このように、環境や経費にも配慮しながら農業基盤を整備しています。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局

（国営農地再編整備推進室内）

☎0136-44-2121 担当＝中村・斉藤



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.7

### 環境に配慮した国営農地再編整備事業の推進

国営農地再編整備事業では、環境に配慮した整備を検討しています。

例えば、大雨などにより畑の土が川に流れないように工夫をしたり、水路法面の緑化をするなど、水環境・生態系へ配慮した工事を行います。また、地域の景観に重要な樹木の伐採を極力回避するなど、景観にも配慮した整備を行います。平成21年度からは、近藤小学校と地域住民が連携して水田周辺の生物調査を実施してきており、事業実施に向けて地域住民とも環境への意識向上を図ってきています。

ニセコ町の畑や水田は、沢地や傾斜地で小区画・不整形のため、効率的な機械作業が行えず、担い手が減少する今、ニセコ町の農業の未来に大きな不安を抱えています。



近藤小学校と実施した生物調査

農地が荒れてしまった風景は、ニセコ町にとって良くありません。豊かな農村景観を未来に引き継いでいくためにも、大変重要な事業といえます。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局

(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当=中村・斉藤

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.8

### 埋蔵文化財保護のための所在調査を実施します

国営農地再編整備事業を実施するにあたって、整備地区内に遺跡などの埋蔵文化財がないかどうか、現地調査を行います。

埋蔵文化財とは、文化財保護法により「土地に埋蔵されている文化財」と定義されていて、ほとんどは地面に埋まっています。これら埋蔵文化財は、地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産であり、その地域の歴史・文化環境を形作る重要な要素でもあります。このような埋蔵文化財が、破壊されることのないよう文化財保護法の規定により、調査などを行います。

この現地調査では、農地の整備が埋蔵文化財に影響を与えるかどうか検討し、実際に試掘調査をする必要があるかどうか判断されます。調査は、主に5月中に畑の中を実際に歩いて行います。埋蔵文化財の保護を図りつつ、ニセコの農地が生産性の高いものになるように事業を推進します。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局

(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当=中村・斉藤



昨年実施した現地調査の様子。畑に入る際には、病害虫対策のために使い捨てのビニールカバーを靴に被せるなど、農業に影響を与えないように調査しました

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.9

### 平成24年度ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会総会を開催しました！

5月1日、町民センターにおいて平成24年度ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会総会を開催しました。総会では、平成23年度の活動報告のほか平成24年度の事業計画や予算案について審議を行い承認されました。

今年の計画として、先進地視察研修や広報活動を継続するとともに、新たに国の関係機関などへ要請活動などを実施することとし、一層強力に運動を推進していくことを確認しています。

町内の農地は区画が狭小で傾斜もあり、排水についても不良であるため、農産物の生産性が低く農家の農業経営は不安定なものとなっています。また、日本全体をみると昨年3月に発生した東日本大震災により、多くの農地が被害を受けました。日本の食糧を守っていくためにも、本町においてはこれまでも増して一層安心・安全な農産物を作り続けなければなりません。そのためにも、国営農地再編整備事業により生産性の高まるような基盤整備を行い、農業経営の安定化と農業の振興による地域の活性化を図っていく必要があります。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局

(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当=中村・斉藤





## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.4

百聞は一見にしかず ～期成会視察研修報告 その1～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会では、先進地視察研修を行いました。研修先は土別市や妹背牛町など、すでに国営事業を実施している地区です。主に水田地帯ですが、どの地域も共通しているのは深刻な後継者不足です。この問題を農業者自らが考え、農地は自分の世代で終わるのではなく、いつ誰でも耕作しやすい農地に整備することで、少ない担い手でも効率的に耕作できる優良な農地を整備するために、国営農地再編整備事業に取り組んでいます。地元の農業者との意見交換も行うことができ、大きな刺激になりました。また参加者の中には、過去に基盤整備した農地も更に整備したいという声が出るなど、この視察研修はニセコの将来にとって大きな意義を持ったものとなりました。

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当＝中村・斉藤



妹背牛地区で整備された水田

耕作道や用水路の整備に加え、地下かんがい設備も整備されているため、水田から畑作に転作して、もし日照りが続いても地下から作物に水を与えることができます。このように、国営事業によって、先進的な農業生産技術を大幅に導入しています

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.5

百聞は一見にしかず ～期成会視察研修報告 その2～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会では、7月14日と15日に近隣町村の基盤整備状況について視察研修を行いました。参加した農業者は31名で、視察先は道営による基盤整備事業を実施してきた蘭越町と、国営農地再編整備事業を現在実施している真狩村です。どちらも決して平坦な土地ではありませんが、基盤整備事業によって、次々と良い農地へ変化を遂げています。特に真狩村では畑作が主ですが、隣接する農家と一体的に整備することによって、まるで平地のような広がりのある農地に整備されています。参加された農業者から、近隣の町村で基盤整備が進んでいる様子を見て、ニセコ町での早期国営事業着手に期待する声が上がっていました。

優良な農地を将来へ引き継いでいくためにも、このチャンスを逃してはなりません。



真狩村で実施されている国営農地再編整備事業において整備された畑。傾斜改良に合わせ、農道や排水設備が整い、生産効率が格段に向上しています

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.6

受益地確定！地区推進委員会を開催しました

地区推進委員会とは、事業を円滑に推進するために、町内各地区（8地区）において受益者と関係者でさまざまな課題や計画について協議する場として組織しています。

11月17日から25日まで全8地区で開催され、47名の農業者が参加しました。そこでは、平成22年度から2年間にわたり実施してきた地区調査に基づき、



里見地区推進委員会の様子

国営農地再編整備事業の受益地の確定について協議し、了解を得ました。調査開始当初は1,000ha程度と見込んでいた受益地ですが、最終的には約1,500haにものぼり、この事業への強い期待が数字にも表れた結果となりました。

TPPの問題など、農業を取り巻く情勢が揺れ動いていますが、この事業によってニセコ町の基幹産業である農業の基盤を一層強化することで、ニセコ町の未来へと繋げていくことができるのではないのでしょうか。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当＝中村・斉藤



## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会レター

Vol.1

### 国営農地再編整備事業とは…？

ニセコ町の農業は、高品位な農作物を生み出し、そこから形成される美しい農村景観などは、観光産業とともに町を支えている重要な基幹産業です。

しかし、ニセコ町の農地は沢地や傾斜地が多く、田畑の水はけが悪いなど、決して条件が良いとはいえません。そこで、国営農地再編整備事業では、国が事業主体となり、農家のみなさんが少ない費用負担で、大規模な田畑の傾斜改良や区画の拡大、用水路や暗渠排水の整備など、様々な農地の整備を行ないます。

現在は、地区調査（事業実施に向けた調査）を行っており、農地の整備課題、営農者や各関係機関の意向や方向性の調整など、詳細な調査をしています。

また、環境に配慮した整備などニセコ町らしい先進性やモデル性などがある整備事業についても検討しています。

地区調査の結果、事業採択要件が満たされ実施決定となれば、平成25年度から8年間かけた大事業となります。

### 国営農地再編整備推進室ができました！

いま、この大きな事業をチャンスと捉え、ニセコ町全体として農地を一体的に整備することが求められています。そこで、ニセコ町として国営農地再編整備事業を強力に推進していくために、新たに国営農地再編整備推進室を設置しました。

■問合せ／国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当：中村・斉藤

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会レター

Vol.2

### 平成23年度ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会総会を開催しました！

4月28日(休)にニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会の平成23年度総会を町民センターで開催しました。各地区の代表・副代表をはじめ、来賓、小樽開発建設部など関係者34名が出席し、平成22年度の活動報告のほか、平成23年度に向けた活動計画や予算案について審議を行い、承認されました。

片山町長の挨拶の中で「国営農地再編整備事業はニセコ町にとって最初で最後の農業基盤整備の大事業であり、町の将来がかかっている。絶対に成功させなければならない。」と述べ、町が一体となった整備の推進を確認しました。



■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当：中村・斉藤

## ～ニセコの未来を整備する～

ニセコ町国営農地再編整備事業レター Vol.3

### 後悔しないために、「今」決断のとき！

現在、ニセコ町で実施している地区調査も、いよいよこの夏には受益地を確定させ、事業計画案を策定していくことになっています。ここで受益地が確定すると、途中で事業に参加することができなくなります。

農家のみなさんの中には、近い将来、営農の継続が困難な人もいます。その時、農地は誰かに貸すか売ることになるでしょう。しかし、整備されていない農地の場合、借りる人はいるでしょうか？もし借り手がいたとしても「どうして事業に乗らなかったの？」と必ず言われます。また、地区で使用している用水路を整備したい場合、用水路に隣接している農地を整備することが条件になります。したがって地域で一体的に参加していなければ、水路を整備することができません。

農地は、将来を考えて整備し続けていかなければなりません。

国営農地再編整備事業は、後から「やっぱりやりたい」と思っても参加することが出来ない事業なので、「今」将来を考えた決断が求められています。

私たちは、優良な農地を将来に引き継いでいく責任があるのです。

■問合せ 国営農地再編整備事業促進期成会事務局  
(国営農地再編整備推進室内)

☎0136-44-2121 担当：中村・斉藤